

調查票

富山県男女共同参画社会に関する意識調査 調査へのご協力のお願い

県民の皆さまには、日頃から、県政の推進にご協力いただき、厚くお礼申しあげます。

さて、富山県では、女性も男性も、人権が尊重され、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会をめざして、各種施策を展開しています。

このたび、県民の皆さまに男女共同参画社会に対するお考えやご意見をお伺いし、今後の施策を検討するうえでの基礎資料とすることを目的に、男女共同参画社会に関する意識調査を実施いたします。

この調査は、(財)北陸経済研究所に委託し、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、無作為に選ばせていただいた男女1200名の方を対象に実施するものです。

お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成21年10月

富 山 県

- この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、他の目的に使用することは決してありません。
- 調査の結果は、統計的な集計・分析だけに用いられますので、お答えの内容や個人情報が外部に漏れることは一切ございません。

<ご記入にあたって>

- ◆ 調査対象者として選ばれた方ご自身がご記入くださいますよう、お願いいたします。
- ◆ 調査員が数日後にもう一度参りますので、それまでにご記入ください。
- ◆ ご記入にあたっては、黒の鉛筆またはボールペンでお願いいたします。
- ◆ 該当する番号に ○ をつけるなど、設問にしたがってご記入ください。

なお、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

○調査委託先

財団法人北陸経済研究所 (担当 こめや 米屋)
〒930-8507 富山市丸の内1丁目8番10号
TEL: 076-433-1134

○調査担当課

富山県生活環境文化部 男女参画・ボランティア課
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL: 076-444-3137

調査地点番号					調査員氏名

調査票

【I 男女の平等】

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
次の(1)～(6)について、1～6の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	1 優男 遇性 さの れ方 てが い非 る常 に	2 さ男 れ性 ての い方 るが 優い 遇え ば	3 平 等	4 さ女 れ性 ての い方 るが 優い 遇え ば	5 優女 遇性 さの れ方 てが い非 る常 に	6 わ か ら な い
(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2) 職場で	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(4) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6

問2 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何ですか。次の1～7の中から1つ選んで○をつけてください。

- 1 法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること
- 2 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
- 6 その他 ()
- 7 わからない

【Ⅱ 結婚・家庭に関する意識】

問3 結婚、家庭等についての次のような考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の(1)～(4)について、1～5の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	1 賛成	2 賛とど 成いち えら ばか	3 反とど 対いち えら ばか	4 反対	5 なわ い か ら
(1) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
(3) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

問4 近年、晩婚化が進んでいますが、(1)女性の晩婚化の理由 についてあなたはどのようにお考えですか。次の1～13の中から、いくつでも選んで○をつけてください。
また、(2)男性の晩婚化の理由 についてはどうですか。同様にお答えください。

	(1) 女性の晩婚化の理由	(2) 男性の晩婚化の理由
1 独身生活の方が自由であるから	1	1
2 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから	2	2
3 仕事のためには、独身のほうが都合がよいから	3	3
4 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから	4	4
5 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから	5	5
6 社会慣行としての見合いが減少したから	6	6
7 適当な相手にめぐりあう機会が少ないから	7	7
8 親離れ・子離れができていないから	8	8
9 高学歴社会になったから	9	9
10 若者の経済的自立が難しくなったから	10	10
11 兄弟の数が減ったことなどから婚姻による改姓が障害となっているから	11	11
12 わからない	12	12
13 その他	13	13

「13 その他」を選択された方は、具体的にご記入ください。

(1) 女性の晩婚化の理由	
(2) 男性の晩婚化の理由	

問5 現在、結婚すると、夫婦が同じ名字(姓)を名乗ることが義務づけられていますが、法律が変わり夫婦が別々の名字(姓)を名乗ることが選択できるとしたらあなたはどのようにしたいですか。
次の 1～5 の中から 1つ 選んで○をつけてください。
現在あなたが未婚でこれから結婚すると仮定してお答えください。

- 1 夫婦で別々の姓にしたい(自分の姓は変えたくない)
- 2 夫婦で同じ姓にしたい(配偶者には自分の姓を名乗ってほしい)
- 3 夫婦で同じ姓にしたい(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)
- 4 夫婦で同じ姓にしたい
(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが職場では旧姓を名乗りたい)
- 5 わからない

問6は 配偶者のいる方 にお聞きします。

問6 現在、あなたの家庭では、次にあげるような家事などを主に誰が分担していますか。
次の (1)～(3) について、1～6 の中から それぞれ1つ 選んで○をつけてください。

	1 夫	2 妻	3 (夫 同じ 婦 程度)	4 (父 自分 または 配偶者 の)	5 (母 自分 または 配偶者 の)	6 その 他の 人
(1) 炊事、洗濯、掃除などの家事	1	2	3	4	5	6
(2) 育児(乳幼児の世話) *乳幼児のいる家庭の方のみにお聞き します	1	2	3	4	5	6
(3) お年寄りの介護 *日常的にお年寄りの介護をしている 家庭の方のみにお聞きします	1	2	3	4	5	6

【Ⅲ 子ども・教育】

問7 あなたは理想として、あなた自身に何人の子どもがいるのがよいと思いますか。
 また、あなたは実際には生涯に何人子どもを持つつもりですか(持ちましたか)。
 次の(1)~(2)について、1~5の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
	1人	2人	3人以上	0人	わからない
(1)理想の子どもの数	1	2	3	4	5
(2)実際に持つつもりの子どもの数 (現実の子どもの数)	1	2	3	4	5

問8は、問7で 実際の子どもの数が理想より少なかった方 にお聞きします。

問8 実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。
 次の 1~14 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。
 また、選んだ中で、特に重要なものについて 1つだけ 番号を記入してください。

- 1 経済的負担が増えるのは大変だから
- 2 健康上の理由から
- 3 出産の心理的、肉体的不安があるから
- 4 育児・子育てに自信がないから
- 5 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
- 6 子育て以外にも時間を使いたいことがあるから
- 7 住居が狭いから
- 8 自分の仕事に差し支えるから
- 9 子どもが好きではないから
- 10 配偶者が望まないから
- 11 欲しいけれどもできないから
- 12 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 13 その他 ()
- 14 わからない

↓

特に重要なもの

- 問9 あなたはお子さんに、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。
 (1)男の子、(2)女の子、について、次の 1~8 の中から それぞれ2つ以内 に○をつけてください。(子どものいない人は、仮に子どもを持つとしたらとしてお答えください。)

	(1)男の子の場合	(2)女の子の場合
1 社会的な信用や信頼を得る	1	1
2 経済的に恵まれた生活をする	2	2
3 心豊かな生活をする	3	3
4 家族やまわりの人たちと円満に明るく暮らす	4	4
5 社会に貢献する	5	5
6 本人の個性や趣味をいかした生活をする	6	6
7 本人の意志に任せる	7	7
⑧ その他	8	8

「8 その他」を選択された方は、具体的にご記入ください。

(1)男の子の場合	
(2)女の子の場合	

- 問10 あなたは自分の子どもにどの程度教育を受けさせたいと思いますか。
 (1)男の子、(2)女の子、について、次の 1~7 の中から それぞれ1つ 選んで○をつけてください。(子どものいない人は、仮に子どもを持つとしたらとしてお答えください。)

	(1)男の子の場合	(2)女の子の場合
1 中学校まで	1	1
2 高等学校まで	2	2
3 短期大学(高等専門学校を含む)まで	3	3
4 大学以上	4	4
5 専修学校・各種学校まで	5	5
6 子ども次第	6	6
7 わからない	7	7

- 問11 あなたは「女子は文系、男子は理系の分野が向いている」という考え方についてどう思いますか。
 次の 1~5 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

【IV 就業】

問12 (1) 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次の中のどれですか。
次の 1～7 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- 1 ずっと職業を持たない
- 2 結婚するまで職業を持つ
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ
- 6 その他 ()
- 7 わからない

(2) あなたが女性の場合は、実際はどの働き方になりそうですか(なりましたか)。
次の 1～7 の中から 1つ 選んで○をつけてください。
(あなたが男性の場合は配偶者のことについてお答えください。仮に現在配偶者のいない方はいるとしてお答えください。)

- 1 ずっと職業を持たない(持たなかった)
- 2 結婚するまで職業を持つ(持った)
- 3 子どもができるまでは、職業を持つ(持った)
- 4 子どもができて、ずっと職業を続ける(続けた)
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ(持った)
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問13は、現在職業をお持ちの方にお聞きします。

(主婦・主夫、学生、その他の無職の方)は 問14 に進んでください。

問13 あなたが現在働いているのは、どのような理由からですか。
次の 1～17 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------|----|--------------|
| 1 | 主たる収入として生計を維持するため | 10 | 社会に貢献するため |
| 2 | 従たる収入として家計を補助するため | 11 | 仕事をするのが好きだから |
| 3 | 住宅ローンなど借金の返済のため | 12 | 働くのが当然だから |
| 4 | 教育資金を得るため | 13 | 時間的に余裕があるから |
| 5 | 将来に備えて貯蓄をするため | 14 | 家業であるから |
| 6 | 自分で自由に使えるお金を得るため | 15 | その他 () |
| 7 | 生きがいを得るため | 16 | 特に理由はない |
| 8 | 自分の能力・技能・資格をいかすため | 17 | わからない |
| 9 | 視野を広げたり、友人を得るため | | |

問14 あなたは、一般的にいて、女性が職業人として職場で能力を発揮するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の 1～11 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。
また、選んだ中で、特に重要なものについて 1つだけ 番号を記入してください。

- 1 女性が職業人としての自覚を持ち、意欲を持って働くこと
- 2 仕事に必要な職業能力を身につけること
- 3 男は仕事、女は家庭という従来の社会通念が変わること
- 4 採用、職場配置、研修などにおいて、男女の機会均等が実質的に確保されること
- 5 能力や実績に応じた評価(給料の面を含む)がなされること
- 6 育児休業を取りやすくすること
- 7 介護休業を取りやすくすること
- 8 結婚、出産等によりいったん退職した女性が同じ企業に再び雇用されるようにすること
- 9 事業主が男女共同参画の理念等の理解に一層努めること
- 10 その他 ()
- 11 わからない

↓

特に重要なもの

問15 女性の意思決定を行う管理的部門や指導的地位への登用が未だ少ない理由として、どのようなものがあるとお考えですか。次の 1～9 の中から 2つ 選んで○をつけてください。

- 1 女性自身が管理的部門等につくことに消極的だから
- 2 女性は必要な知識や判断力が十分でないから
- 3 女性は勤続年数が短いから
- 4 男性中心の職場慣行があるから
- 5 家族の理解や協力が得られないから
- 6 女性の職域は、主として補助的業務などに限られているから
- 7 登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問16 女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられるのはどのようなことですか。次の 1～15 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。また、選んだ中で、特に重要なものについて 1つだけ 番号を記入してください。

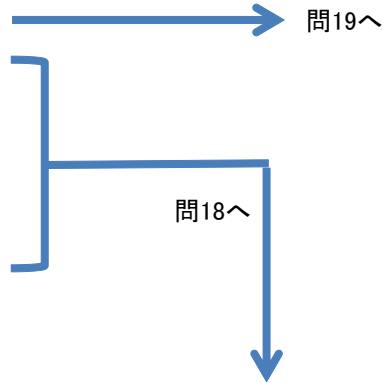
- | | | | |
|----|--------------------------|----|-----------------------|
| 1 | 出産・育児 | | |
| 2 | お年寄りや病人の世話 | | |
| 3 | 子どもの教育 | 12 | 女性はすぐやめる、労働力が劣るという考え方 |
| 4 | 家事 | 13 | その他 () |
| 5 | 夫の転勤 | 14 | 障害、困難になるものはない |
| 6 | 家族の理解や協力が得られないこと | 15 | わからない |
| 7 | 自分の健康 | | |
| 8 | 仕事の内容にやりがいのないこと | | |
| 9 | 職場での結婚・出産退職の慣行 | | |
| 10 | 長く働き続けられるような職場の条件・制度が不十分 | | |
| 11 | 昇進、教育訓練などでの男女の不公平な扱い | | |

特に重要なもの

【V 政策方針決定】

問17 あなたは、女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。
次の 1～4 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- 1 十分反映されている
- 2 ある程度反映されている
- 3 あまり反映されていない
- 4 ほとんど反映されていない



問18は、問17で 2～4 「十分反映されていない」と答えた方 にお聞きします。

問18 十分反映されていない理由について考えられるものを次の 1～8 の中から 3つ以内 で選んで○をつけてください。

- 1 女性議員が少ない
- 2 行政機関の上層部に女性が少ない
- 3 女性自身の意欲や責任感が乏しい
- 4 女性自身が消極的である
- 5 男性の認識、理解が足りない
- 6 社会の仕組みが女性に不利である
- 7 女性の能力に対する偏見がある
- 8 その他 ()

【VI 仕事と生活の調和】

問19 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、(1)あなたの希望に最も近いもの、(2)あなたの現実(現状)に最も近いものを、次の 1～8 の中から それぞれ1つ 選んで○をつけてください。

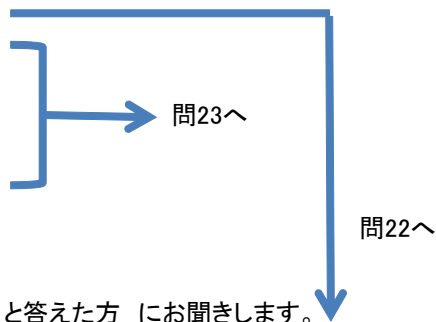
	(1) あなたの希望に最も近いもの	(2) あなたの現実(現状)に最も近いもの
1 「仕事」を優先	1	1
2 「家庭生活」を優先	2	2
3 「地域・個人の生活」を優先	3	3
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先	4	4
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	5	5
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	6	6
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	7	7
8 わからない	8	8

問20 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の 1～12 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
- 6 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心が高めるよう啓発や情報提供を行うこと
- 8 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること
- 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 11 その他 ()
- 12 特に必要なことはない

問21 あなたは、日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。
それともあまりそのようなことは考えていませんか。
次の 1～3 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- 1 思っている
- 2 あまり考えていない
- 3 わからない



問22は、問21で「1 思っている」と答えた方 にお聞きます。

問22 何か社会のために役立ちたいと思っているのはどのようなことですか。
次の 1～16 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。

- 1 青少年健全育成に関する活動(ボーイスカウト、ガールスカウト)
- 2 体育・スポーツ・文化に関する活動
(スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など)
- 3 自主防災活動や災害援助活動
- 4 公共施設での活動(公民館における託児、博物館の展示説明員など)
- 5 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)
- 6 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など)
- 7 社会福祉に関する活動
(高齢者や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など)
- 8 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)
- 9 自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など)
- 10 交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)
- 11 募金活動、チャリティーバザー
- 12 町内会などの地域活動
(お祝い事や不幸などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など)
- 13 家事や子どもの養育を通して
- 14 自分の職業を通して
- 15 その他 ()
- 16 わからない

問23 あなたは、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現された社会」に近づくためには、(1)企業 や (2)行政 において、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から いくつでも 選んで ○ をつけてください。

(1) 企業による取組み

- 1 企業のトップのリーダーシップや管理職の意識改革
- 2 長時間労働の抑制のための業務見直しや要員の確保、職場の風土改革
- 3 フレックスタイムや在宅勤務、時間短縮勤務など柔軟な働き方の実現
- 4 年次有給休暇を取得しやすい職場づくり
- 5 育児・介護で仕事を休んでも不利にならない人事評価制度
- 6 育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり
(休業中の代替要員の確保、休業者への情報提供、職業能力の開発・向上 等)
- 7 高齢者等への再就職・継続就業への取組み
- 8 育児・介護等によりいったん退職しても復帰できる再雇用制度の充実
- 9 事業所内保育施設の設置・運営等子育て支援
- 10 地域活動への参加や自己啓発の促進、ボランティア休暇の充実
- 11 その他 ()

(2) 行政による取組み

- 1 ワーク・ライフ・バランス実現のための意識啓発
- 2 企業へのノウハウ・好事例・専門家によるアドバイスの提供
- 3 積極的に取り組む企業の表彰
- 4 職業能力開発支援など非正規労働者への経済的自立支援
- 5 就職支援や職場定着支援など若年者の安定就労・自立した生活の推進
- 6 雇用確保など女性、高齢者等の多様な働き方に対する支援
- 7 男性の子育て等への関わりの促進
- 8 育児や介護の施設・サービスの充実
- 9 多様で豊かな生き方を実現するための地域活動に関する学習機会・情報の提供
- 10 その他 ()

【Ⅶ 高齢期】

問24 あなたの高齢期の生活の支えについて、主となるべきものは何だと思えますか。
最もあなたの考え方に近いものを次の 1～5 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- 1 自分自身での支え
- 2 家族の支え
- 3 社会全体での支え
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問25 あなたは、自分の高齢期のことを考えた場合、気がかりなことはありますか。
次の 1～9 の中から 2つ 選んで○をつけてください。

- 1 自分や配偶者が寝たきりになったり、認知症になったときのこと
- 2 配偶者に先立たれた後のこと
- 3 生活費など経済的なこと
- 4 友人や仲間とのつきあいがなくなり孤独になること
- 5 健康のこと
- 6 仕事のこと
- 7 趣味や生きがいのないこと
- 8 その他 ()
- 9 不安はない

問26 (1) もし、あなたご自身 が介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主にだれに世話をしてもらいたいですか。
次の 1～9 の中から 1つ 選んで○をつけてください。
(あなたからみた続柄をお答えください。)

- 1 配偶者(妻または夫)
- 2 息子
- 3 娘
- 4 息子の配偶者
- 5 娘の配偶者
- 6 その他の家族、親戚
- 7 ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)
- 8 施設の介護
- 9 その他 ()

(2) あなたの親 が介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主にだれの世話を受けさせたいですか。
次の 1～9 の中から 1つ 選んで○をつけてください。
(あなたの親からみた続柄をお答えください。)

- 1 配偶者(妻または夫)
- 2 息子
- 3 娘
- 4 息子の配偶者
- 5 娘の配偶者
- 6 その他の家族、親戚
- 7 ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)
- 8 施設の介護
- 9 その他 ()

問27 あなたは一般的にいて、親が高齢になったら子ども夫婦と同居したほうがよいと思いますか。それとも別居したほうがよいと思いますか。次の 1～5 の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- 1 どのような場合でも子ども夫婦と同居するほうがよい
- 2 夫婦のどちらかの身体が弱くなったときは、同居をするほうがよい
- 3 夫婦のどちらかが一人になったとき、子ども夫婦と同居するほうがよい
- 4 子ども夫婦とは別居したほうがよい
- 5 わからない

【Ⅷ 男女共同参画社会】

問28 メディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。次の 1～8 の中から いくつでも 選んで○をつけてください。

- 1 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
- 2 社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている
- 3 女性に対する犯罪を助長するおそれがある
- 4 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない
- 5 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
- 6 その他 ()
- 7 特に問題はない
- 8 わからない

問29 県では、男女共同参画社会の実現をめざしてさまざまな施策を推進していますが、今後はどのようなことに、力を入れていったらよいと思いますか。
次の 1～14 の中から 主なものを3つ 選んで○をつけてください。

- 1 法律や制度の面で見直しを行う
- 2 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 3 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- 4 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
- 5 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
- 6 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- 7 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
- 8 職場における男女の平等な取扱いを周知徹底する
- 9 女性の就労機会確保、女性の職業教育・訓練の機会を充実する
- 10 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- 11 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- 12 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PR する
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問30 女性の社会参加(参画)の促進や社会的地位の向上を図るために、具体的にご要望やご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

<フェイス・シート>

◇ 回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。

F 1 【性別】（○ はひとつ）

- 1 男性 2 女性

F 2 【年齢】（平成 21年 10月 1日現在）（○ はひとつ）

- 1 20 ～ 29 歳 2 30 ～ 39 歳 3 40 ～ 49 歳
4 50 ～ 59 歳 5 60 ～ 69 歳 6 70 歳以上

F 3 あなたのご職業は何ですか。（○ はひとつ）

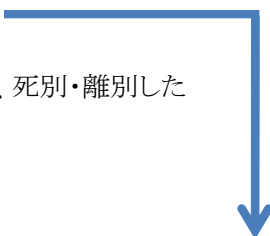
（出産休暇・育児休業中の方も働いているものとみなしてください。2 つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。）

自営業主	1	農林漁業
	2	商工サービス業
	3	自由業
家族従業者	4	農林漁業
	5	商工サービス業
	6	自由業
雇用者	7	管理職
	8	専門技術職
	9	事務職
	10	労務職
無職	11	主婦・主夫
	12	学生
	13	その他の無職

※ 雇用者の方は、雇用形態もお答えください。


1	常勤(フルタイム)
2	非常勤 (パート・アルバイトなど)
3	その他

F 4 あなたは、現在結婚していらっしゃいますか(事実婚を含む)。(O はひとつ)

- 1 結婚している
 - 2 結婚していたが、死別・離別した
 - 3 結婚していない
- (1) へ
- 

(1) あなたの配偶者(夫または妻)は、どのような働き方をしていますか。(O はひとつ)

- 1 自営業主
- ※ 雇用者の方は、雇用形態もお答えください。

- 2 家族従業者
 - 3 雇用者
 - 4 無職
- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 常勤(フルタイム) |
| 2 | 非常勤
(パート・アルバイトなど) |
| 3 | その他 |
- 

F 5 あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。(O はひとつ)

- 1 いる
- 2 いない

F 6 あなたのご家庭は、次のどれにあたりますか。(O はひとつ)

- 1 単身世帯(1人)
- 2 1世代世帯(夫婦のみ)
- 3 2世代世帯(親と子ども)
- 4 3世代世帯(親と子どもと孫)
- 5 その他

ご協力ありがとうございました